



馬の学校通信100号 手から手へ、届けてきたもの

馬の学校通信のバックナンバーはこちらからご覧になれます。

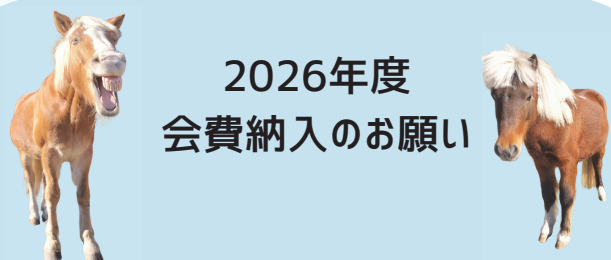


馬の学校通信がついに100号を迎えました！ここまで続けてこられたことに、深い感慨があります。馬の学校を始めた25年前は、まだ携帯もインターネットも一般的ではなく、参加者の多くはロコミで集まっていた。電話やFAXで参加申し込みを受け付け、参加した方がお友だちを誘ってまた来てくださる——そんな温かい広がりの中で活動が育っていきました。そして活動開始から1年経った頃、次のお知らせや活動報告だけでなく、馬に関する知識や、馬の学校として大切にしている思いも一緒に届けたいと考えて、通信を発行し始めました。

「馬の写真館」「おうまの教室」「馬の品種」「馬のトリビア」「おすすめの本」「馬の郷土玩具」「馬のおもちゃ」「馬エッセイ」など、これまでさまざまなコーナーを作ってきました。通信の作成は、私自身にとっても大切な振り返りの時間であり、課題に気付いたり、今後の方向性を考えるきっかけにもなりました。そして何より、日々の活動を通信として形に残し、通信を通して生まれるつながりを大切にしていきたいという思いが、100号まで続けてこられた原動力になっていたと思います。通信を通して、10年、20年も経っていてもつながりが続いたり、新しいつながりが生まれたりしたことは、何よりの宝物です。これまで読んでくださった皆さまに、心から感謝しています。

今ではスマホやSNSで簡単に情報発信ができる時代になりました。それでも、通信を作り、印刷し、発送するという手間を手放そうと思ったことはありません。紙を手取る感覚が好きで、原稿も必ず印刷して確かめる——そんな自分の性分もあって、ここまで続けてこられたのだと思います。

今後は年3回となりますが、変わらず通信をお届けしていきます。どうぞ“通信友だち”として、これからもお付き合いいただけたら嬉しいです。



2026年度 会費納入のお願い

馬の学校MilkyWayでは、馬の学校の目的に賛同される方に会員になっていただいております。充実した活動のため、そしてミルクィの生活を支えるため、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

<通信会員> 1,500円/年

<賛助会員> 3,000円/年 or 6,000円/年
☆特典…ミルクィカレンダー

<ミルクィサポート会員>

- ・フードサポート 10,000円/年
- ・フットケアサポート 20,000円/年
- ☆特典…ミルクィカレンダー・ミルクィ缶バッジ

お振込み先
郵便振替の口座番号・加入者名
00930-4-83224 馬の学校

編集後記



通信100号の発行にあたり、馬の学校への心温まるメッセージや思い出のエピソードをお寄せいただき、心より感謝申し上げます。みなさんからいただいた思い出を読ませていただきながら、当時のことをとても懐かしく思い出しました。そして、馬とかがわった時間が、みなさんの心の中に今も残っていることを、とても嬉しく感じています。

また、現在馬の学校に通っている子どもたちからも、かわいらしいメッセージをいただきました。子どもたちが大きくなって振り返ったとき、どんなことが思い出として心に残っているのでしょうか。そんなことに思いを馳せながら、これからも子どもたちの成長を見守る場所であり続けたいと思っています。

馬の学校の活動も26年目に入り、これまでの活動を本という形にまとめたと考えています。本当は25周年のときと思っていたのですが、なかなか進まざりました。そこで、ここで宣言することで、自分を少し追い込んでみようと思います(笑)。もしよろしければ、ときどき「本は進んでいますか？」と声をかけていただけると嬉しいです。(峯崎 友香理)



祝・100号！

馬の学校 MilkyWay 通信

スペシャル



みなさまから 馬の学校への メッセージ



ミルクィ いつまでも元気にお仕事頑張ってください。色々な活動大変ですが楽しみにしています。身体に気を付けて頑張ってください。(黒森紀代美)

馬の学校通信100号おめでとうございます！益々のご活躍報告を馬の学校通信で楽しみにしています。(S.I)

馬と一緒に過ごせる子どもたちの居場所を続けてくださり、ありがとうございます！ミルクィがいつまでも元気でいてくれますように。(武藤露子・寛奈)

馬とこんなに身近に、触れ合える体験はなかなかないです。乗馬だけでなく、お世話も体験できるのは貴重で、大切なことだと思います。これからも応援しています。(玉井涼)

気持ちのいい場所で、気持ちのいい動物たちに囲まれて幸せですね。また、愛に行きます。(Y.F)

100号記念、おめでとうございます。通信を通して、成長していく友香理ファミリーが楽しみです。頑張っね。(西田芳美)

貴重な体験をありがとうございました。また機会があれば是非参加したいです。(上江洲恵梨)

たくさんのハードルを越えて、すてきな空間がグレードアップしながら続いていることが、本当にすごいです。また遊びに行かせてください！(源容子・楓紗)

障害のある長男の活動の場を広げて下さったことに感謝しております。これからも馬の学校の活動を大阪から応援しています。(E.T, K.T)

いつまでも皆さんが笑顔になれるよう頑張ってください！(堀越和希)

今年のキャンプも楽しみにしています。(清水瑚々夏)

色々な環境の子供がいる中、馬と関わることで、その子一人一人が前を向き、幸せに思えることを常に考えてここまで進んで来られたことを、本当に素晴らしい心から誇りに思います。この素晴らしい馬との関わりは、馬の学校でしか体験できないことだと思います。どうかこれからも馬の素晴らしさを伝え続けて頂きたいと思います。(松井貴子)

みねさんはじめお嬢さん、ミルクィさん&あきおさんと親友になれたことが、何ものにも変えられないほどの私の大切な宝物です。これからもずーっと！お手伝いさせてくださいね。(とーこ)

いつもありがとうございます。行きたくないという日は1日もないのできっと充実した時間を過ごしているのだと思います。(S.W, S.W, K.W)

馬の学校通信100号発行おめでとうございます。みねさんがミルクィやアキオくと繰り広げるお笑いコントのようなコミュニケーションは心身の自己治癒力アップに効果絶大です。いつも明るい笑い声が響くハケ岳南麓の馬の学校にますますたくさんの仲間が集いますように。これからも応援しています。(横尾絹子)

これからも一緒に楽しもうねミルクィアキオ(K.Y, G.Y)

これからもよろしくね(H.S)

突然前触れなく「お馬さんと遊びたいーお馬さんと一緒にいたいー」と言い出した娘。すぐ「思い浮かんだのが馬の学校でしたが、気軽にお馬さんと触れ合える環境、柔らかく温かい環境を作り出してくださっていて大変感謝しています(C.Y, M.Y)

初めて会った時からずっとずっと馬の学校を続けて来られてすごいなと子どもらと話しています。これからも応援しています。ミルクィも頑張れ！(牛尾智代美)



なかなか出来ない体験をさせてもらえてありがとうございます！ミルクィ大好き！(M.Y, R.Y)

これからもウマたちと楽しんでください♪(横田真和)

みねさんにいつも見守って頂き、時にはスタッフ側として頼って頂き、とてもよい関係性を築いて頂いている事に感謝しています。(須田美和・菜理)



【発行】馬の学校MilkyWay

〒408-0002 山梨県北杜市高根町村山北割3107八ヶ岳南麓URAYAMA
TEL/FAX 0551-48-4397 E-mail umanogakkou@yahoo.ne.jp
ホームページ <https://www.horseschool.org/>





馬の学校 思い出エピソード

夏に、引き馬でミルクィに乗せて貰っている時の事ですが、田んぼの光る鳥よけカカシが怖くて毎回同じ所で止まってしまうミルクィが可愛いぞ 笑いが出てしまいました ホッコリしますね (黒森紀代美)

小学生の頃に参加した馬キャンプで裸馬に乗ったことです。馬の背中から伝わってくるリズムや温かさがとても心地よかったことを覚えています。貴重な体験でした。(上江洲恵梨)

ミルクィの裸馬体験は忘れられない思い出です。優しく賢いミルクィだからこそ出来る体験だと思いました。初めて裸馬体験でミルクィのおしりに抱きついた時には、このまま寝てしまいたいと思うくらい幸せな気持ちと安心感があり最高でした。また子供が小さい時もミルクィは安心してお世話させてくれたので、子供も宝探しのようにはしゃぎ回ったり、気持ちよさそうにしているミルクィを見て一生懸命ブラッシングしたりとても楽しんでいました。ミルクィの優しさに触れた後の子供はとてもキラキラして、いてこのままずっと一緒にいたいと思ったのを覚えています。(松井 貴子・悠惇)

いつも通信で、見ているミルクィやアキオに会えて、嬉しかったです。思っていたよりも綺麗で、大きかったので、驚きました。友香理さんファミリーが愛情で、育ていらっしやったことが伝わりました。(西田芳美)

ミルクィと遊び終わって帰ろうとしたら、他の人と遊んでいたミルクィがかけよってきてくれたこと。(Y.H)

馬の学校との出逢いは、まずはボランティアからでした。主に関西でのプログラムで、牧場や乗馬施設でのお世話体験や引き馬のお手伝いをさせていただきました。ミルクィさんや他の馬たちから、良いことも危険なことへの対処も教わり、私の人生を変えるほどのかけがえのないものとなりました。(とーこ)

ミルクィの背中中で身を委ね寝て貰っている我が子の姿に驚きました。ミルクィの感触と暖かさは今も覚えていると分かります。ありがとうございます。(S.I, R.I)

乗馬してみても馬の背中って大きいな♫と思っていました。あと何より目が大きくて優しいです。今でも馬がかわいいな♫思い出します。(玉井涼)

馬がこわかった私が、子供たちに混じって、”ミルクィと友達になろう”に参加してから10年近く経ちます。ミルクィとの触れ合いを通じて、心身の楽さを取り戻したり、リラクゼーション、受け容れられ感を実感したり、、、ミルクィに教えてもらう、思い出せてもらうことがたくさんありました。何より、馬がこわくなくなりました。あの時、思い切って、参加させてもらって本当によかったです。(F.O)



娘は5歳頃から何度か参加させていただきました。馬のお世話をしたり、背中で揺られたり、どの瞬間にも幸せ感が溢れていました。大きな馬の独特のオーラに心がびたり来たようで、寄り添ったり、おでこを合わせたり、帰り際には、馬と別れるのが寂しくて、それまで見たことないほどの号泣でした。その後、馬は飼えませんが大きな犬を飼って、欠かさず世話をし信頼関係を築いています。馬の学校で見た馬と人の暮らしは、そんなことも教えてくれたと思います。(源容子・楓紗)

中学生の時にハヶ岳の小須田牧場のウマキャンプに参加させていただきました。当時は馬がどのような動物なのかははっきりわかりませんが参加してみると不思議な魅力がありました。数年後に高校卒業直後から約7年近く北海道での競走馬の牧場で働くきっかけになるとはその時は夢にも思いませんでした。そして現在は馬が好きな妻と出会い結婚しました。子供が3人生まれてからも自分の叔母さんの家が山梨県北杜市にありよく遊びに行っていました。偶然にも近くに馬の学校があるとのことで峯崎さんとも再会することができました。3人とも馬に乗ることを楽しんでいましたが特に両足の膝から下が痺れている3男が普段できない体験をとて楽しんでいました。今でもミルクィの名前を出してきます。峯崎さんといろいろ話している間に自分と妻との夢の「馬を飼う」という「夢」を「目標」にすることができました。今は千葉県でそこに向けて頑張っていますが必ず実現してみせます!馬の学校のように皆が自然と集まれる場所を作るといってきかけを持たせてくれました。子供たちもたくさん楽しんでくれたのでまた遊びにいきたいと思います!(堀越和希)

長男が学校のプログラムに初めて参加したのは、小学5年(多分)の時、服部緑地でのプログラムでした。自閉症と知的障害をもつ長男に、活動の場を少しでも広げられるようにと当時は様々な活動にチャレンジしていて、馬の学校もそのひとつでした。服部緑地の駅から乗馬センターまで、初めての場所が苦手な長男を引きずるようにして連れて行ったのを覚えています。動物の匂いが苦手なので、そもそもプログラムに参加できるかどうかダメ元でのチャレンジだったのですが、峯崎先生はじめスタッフの皆さんが暖かく迎えてくださり、馬に乗ることができた時は感激しました。その後も数年にわたってお世話になり、動物嫌いでも馬だけは大丈夫になり、地方へ旅行の際にはホーストレッキングなども楽しめるようになりました。長男の世界を広げてくださったことにとても感謝しております。(E.T, K.T)

子ども達に馬と触れ合う機会を探してたら馬の学校を知り奈良から清里まで…20年以上前の話です。夏でも清里の朝は寒く長袖を着て馬小屋に…確かジョッキーときららのお世話をしたと思います。子どももすっかり馬の魅力に取り憑かれプログラムが終わったあとも日が暮れるまで牧場で遊んでました。それから子供だけで馬キャンプに参加するようになり、参加するたび世話をした馬の名前や乗馬などの様子を丁寧に教えて頂きました。月日は流れ…孫は六甲山牧場で初めて参加しました。4年前は孫や母も連れて4世代で清里へ。母は子供の頃、馬を飼っていたのでミルクィとの触れ合いを楽しみました。その翌年、母は亡くなりましたが愛おしうにミルクィを見ている写真を見ると少しは親孝行できたかなと思っています。(牛尾智代美)

ミルクィに初めて会ったのは5年ほど前、ミルクィが清里にいた頃です。穏やかに優しく大きな目に惹かれたものの、大きなミルクィに押し潰されそうだし、硬そうな蹄には踏まれそうで怖かった…それが初日の感想です。それでもまた会いたくなって通ううちに、今ではミルクィとの自然な間合いが感じられるようになりました。その感覚が健康にも繋がったようで健康になりました。ミルクィありがとう (横尾絹子)

ミルクィに乗ってはじめて速足をしたとき、これまでに乗った他の馬とはちがうゆっくりなテンポで楽しかった。ミルクィはやさしくてとってもかわいくて大好きです。(武藤寛奈)

ミルクィキャンプでいつもよりじょうばが長くできてうれしかった。カレーもおいしかったし、みんなやミルクィやアキオもいたからとても楽しかった。(清水瑚々夏)

今までは引き馬で乗っていたけど、1人で乗ってみたいと思って自分から挑戦してみました。馬を自分で操作するのが楽しかったです。(古良ひなた)

馬のことについて、私より詳しくなりいろいろ教えてくれます。馬頭琴の弦か馬のしっぽだとか、細かいことを良く覚えていきます。(S.W, S.W, K.W)

ミルクィに沢山の葉っぱや草を集めてあげたよ。ミルクィが好きなのはやっぱりにんじんの葉っぱかな!!(K.Y)

やっぱりミルクィに乗っての玉入れかな。楽しかったな!(G.Y)

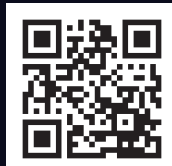
家では甘える専門なのに、アフタースクールではお姉ちゃんとして、みんなの様子をみて自分を抑えたり気遣ったりサポートしてあげるという自分の立ち位置をわきまえている。(C.Y, M.Y)

ミルクィ(アキオやつづみ、アグリも)いつもありがとう!気持ちの良い時のミルクィの顔、ミルクィがお〇らをした後の顔、馬も色々な表情をするのが面白いです。(H.S)

馬のお世話を通じて、野菜を切ってあげたり、エサをあげたり、普段経験できないことができて楽しいです!(M.Y, R.Y)

秋のウマキャンプの寒い中ウマのフンの中に入ったら暖かくてみんなと楽しめたこと。(横田真和)

馬の学校には年長さんから入学し、小学3年生の現在まで4年目の参加になります。小さな頃から何か馬に特別な魅力を感じていた娘。馬を見かけたり触れ合ったりする機会はよくありましたが、毎回同じ馬で、しかもその馬のお世話にまで関わる事ができるのはあまりなく、馬の学校に通える距離で生活をしていることは娘にとってとてもラッキーな事でした。親の目線から感じるのは、娘の自己肯定感をあげてくれる貴重な場所。学校や普段の生活では得られないような『自分でできた!』という体験と自信をつけることが出来たと思います。(須田美和・菜理)



HP, Instagram, Facebookは
ここからアクセスしてね!